

宇都宮市立田原西小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・自らの思いを表出し、学び合う楽しさを味わう児童の育成	・タブレットや思考ツールを活用し思考の可視化を図り、自分の考えを明確にして話し合いができるよう取り組んでいる。 ・ペアやグループなど、多様な形態で話し合う場を設定する。	・「友達の話最後まできちんと聞いている。」の肯定的割合は80%を超えている学年が多いが、「話し合いに自分から進んで参加している。」「自分の考えを理由をあげながら話すことができる。」の肯定的な回答の割合は、学年によって差があり、市の平均を下回っている。
・家庭学習の習慣化に向けた啓発強化	・年度始めに家庭学習メニューを配付し、自主学習ノートの秀作を掲示したり、家庭学習強化週間を年4回実施したりして、児童及び家庭への意識啓発を図っている。	・「宿題はきちんとやり、期限までに提出している。」の肯定的割合は市の平均を下回っている。「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。」の肯定的な回答の割合は3年生は市の平均を上回っているが、4、5、6年生は下回っている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方針

・国語、算数、理科、社会のすべてにおいて、記述式の問題の正答率が市の平均を下回っており、自分の考えを文章で表現することが苦手な児童が多く見られる。全教科の授業において、分かったことや自分の考え等を記述する場を意図的に設け、書くことへの抵抗感を軽減できるようにしていく。

・学校で学習した内容を宿題や自主学習として家庭で学習する時間がしっかりと確保できるよう、家庭学習の習慣化に向けた啓発を続けていく。また、児童だけでなく、保護者への啓発も継続的に行い、学力の確実な定着を目指していく。